

2011年9月29日

白鶴酒造(株) 御中

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク
副運営委員長 羽賀育子

“PETボトル入日本酒”の販売に関する質問へのご回答のお願い

前略 いつも美味しい日本酒をご提供いただき、ありがとうございます。

私たち「容器包装の3Rを進める全国ネットワーク」は、全国でごみ問題に取り組む200余りの市民、団体が賛同するネットワーク組織で、リデュース・リユースを優先する容器包装の3R活動に取り組んでおります。

私たちが昨秋から取組んだ「容器包装リサイクル法を見直し、発生抑制と再使用を促進するための仕組みの検討を求める国会請願」は、全国から40万筆の署名を集めて国会に提出し、衆参の環境委員会で10年振りとなる“請願採択”を獲得することができました。これにより、国によるリユース普及の検討が着実に強化されることが期待されます。このような取り組みを進める中で、一升瓶については、日本を代表するリユースびんであるにもかかわらず、残念ながら近年おおきく減少傾向にあり、心を痛めて参りました。

このため、先般、貴社が発表した「日本酒をPETボトルで販売する」ことに関しては、とても残念に思います。日本古来の伝統的な日本酒をガスバリアー性の低いプラスチック容器で販売してよいのか、たいへん疑問です。

つきましては、以下のとおり質問させていただきますので、ご多用中誠に恐縮ではございますが、10月末までに文書にてご回答戴けますよう、宜しくお願い致します。尚、ご回答の内容はWEBサイトにて公開させて頂く場合もございますので、予めご了解ください。

早々

【質問事項】

1. 紫外線や空気に弱いPETボトルに入れた場合、茶色の一升瓶と同じように、長い間、おいしく飲むことができますか？ おいしく飲めるという場合、長期に保存した場合の「賞味試験」(味・色等)の結果をデータで教えてください。
2. 新聞発表によれば、「内側に炭素をコーティングする」とのことですが、使い終わった後にリサイクルするときに、他のコーティングしていないPETボトルと混じっても問題はありませんか？
3. プラスチックは酸化防止剤など様々な化学物質を添加しないと作れませんが、その添加物や内側のコーティング物質などが、お酒に溶出することが心配されます。もし問題がないとするのであれば、ppbレベルの検出限界で計測した溶出試験の結果を教えてください。
4. そもそも、環境負荷の低いリユースの代表選手である一升瓶を止めて、使い捨て型の環境負荷の高いPETボトル容器に変えることをどう思っているのですか？
5. 今日、消費者が飲料した後の容器包装をリサイクルする責任は、一義的に製造事業者が担うことが求められており、この考え方は「拡大生産者責任」と呼ばれます。「拡大生産者責任」という考え方は、我が国の各リサイクルに導入されつつありますが、もっとも大切なことは環境配慮設計(Design for Environment)です。今回の日本酒を入れたPETボトル容器は、DfEが十分に果たされた容器だとお考えですか？ 果たされたとお考えの場合、具体的にはどのような点ですか？

以上